

# 丹波市総合計画 令和4年度 施策評価シート

まちづくりの目標	4	美しい自然と環境を大切にする源流のまち
施策目標	3	【ごみ処理】ごみの分別を徹底し、環境に配慮した循環型社会を形成しよう
施策の展開	① ②	ごみの発生抑制 再使用と再生利用の推進

施策担当課	環境課
関係課	環境課

## 1 施策の現状・推移

5年後のまちの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、事業者、行政が協働することで、ごみの発生抑制・再利用・再生利用の意識が浸透しています。</li> <li>・源流のまちとして、里山の美しい自然環境が守られた環境負荷が少ない循環型社会が形成されています。</li> </ul>
----------	---

## 2 成果指標・コストの推移

		単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	一人一日当たりごみ発生量(全ごみ量)	g/日	目標	742.9	740.8	738.7	736.6	734.4	732.3	
			実績	754.6	773.4	760.6	747.7			
	ごみの資源化(リサイクル)率	%	目標	16.6	17.4	18.2	18.4	18.5	18.7	
			実績	15.0	13.1	12.8	14.8			
	一人一日当たりごみ発生量(生活系ごみ)	g/日	目標	498.0	492.7	487.3	481.9	476.6	471.2	
			実績	511.3	545.6	538.1	524.4			
			目標							
コスト	人件費	千円	実績	158,820	163,306	173,947	171,298	—	—	
	事業費	千円	実績	1,108,443	934,046	977,817	1,088,628	—	—	
	計	千円	実績	1,267,263	1,097,352	1,151,764	1,259,926	—	—	
	うち一般財源	千円	実績	894,803	891,040	889,004	993,279	—	—	

## 3 環境変化

国・県の方針、関連法令の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国は、2050年カーボンニュートラルに向けた廃棄物分野における脱炭素化の推進、ライフサイクル全体での徹底した資源循環の促進など廃棄物処理を取り巻く情勢の変化を受け、基本方針の変更に向けた検討を進めている。</li> <li>・プラスチック使用製品の設計指針や市町村の分別収集・再資源化等を盛り込んだ「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が令和4年4月1日に施行された。</li> <li>・県は、「ひようご循環社会ビジョン」と「兵庫県廃棄物処理計画」を統合し、新たに「兵庫県資源循環推進計画」として令和5年度中に策定予定である。</li> </ul>
市民ニーズの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度から令和3年度上期にかけて市ごみ処理施設への搬入が増加したが、令和3年度下期以降は減少傾向が続いている。</li> <li>・ごみ収集では、燃やすごみの排出量が減少、プラスチック製容器包装や紙製容器包装の排出量が増加していることから、行動の変化がみられる。</li> </ul>

## 4 評価

目標の達成状況は順調か。達成していない原因は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度から本格的に実施した燃やすごみ減量施策により、燃やすごみの減量及びリサイクル率が向上した。</li> <li>・特に事業者が排出する剪定枝・刈草を資源化したことにより、燃やすごみ量を245トン削減、リサイクル率を1%向上させた。</li> <li>・燃やすごみを資源化することで焼却処理量を減少させる施策を中心に取組んだが、ごみ発生量の目標を達成するためには、ごみの発生を抑制する施策が必要である。</li> </ul>
環境変化を踏まえた施策展開となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンニュートラルに向け、紙製容器包装の紙製容器包装の収集開始や事業者が排出する剪定枝・刈草の資源化、事業系機密書類の資源化など焼却処理量の削減に取り組んだ。</li> <li>・令和4年12月27日に「丹波市ゼロカーボン宣言」を行い、ごみ処理施設の安定稼働だけでなく、継続的にごみの削減等に取り組むこととした。</li> <li>・プラスチック使用製品を再資源化するため、プラスチック製容器包装と一体的に収集し再資源化に取り組む予定である。</li> </ul>
事業の構成や役割分担で見直しの余地がないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量化や資源化推進のため、一般廃棄物計画収集、資源化推進のための事業の他、丹波市クリーンセンターの管理運営を実施しており、今後もこのまま継続していく。</li> <li>・青垣リサイクルセンターを剪定枝、刈草の資源化処理を行う施設として有効活用する。</li> </ul>

## 5 今後の改革方向

施策の今後の方向性、構成する事務事業の見直し案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃やすごみの減量を最優先課題として、資源化できるものについてはその効果、費用をみながら資源化を進める。</li> <li>・環境に与える影響大きいプラスチック廃棄物のうち、プラスチック製容器包装の資源化には取り組んでいたが、新たにプラスチック使用製品についても資源化を進める。</li> <li>・燃やすごみの削減やリサイクル率の向上のため、家庭から排出される剪定枝やプラスチック使用製品の資源化などに取り組む。</li> <li>・ごみの分別による燃やすごみの削減だけでなく、ごみの発生を抑制する生活への行動変容を促す施策を検討する。</li> </ul>
-------------------------	---



# 丹波市総合計画 令和 4 年度事務事業評価 / 令和 5 年度実施計画

事務事業名	廃棄物処理及び資源循環推進事業		
事業担当課	生活環境部 環境課	事業期間	平成 16 ~ 無期 年度
	所属長 田口 健吾	担当 北野 博史	担当 荻野 誠

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【4】美しい自然と環境を大切にす源流のまち
		施策目標	3【ごみ処理】ごみの分別を徹底し、環境に配慮した循環型社会を形成しよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、丹波市廃棄物の適正処理、減量及び再生利用に関する条例	

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	市民・事業者、廃棄物・資源	
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波市クリーンセンターと各種処理施設で適正にごみ処理がされている。</li> <li>・ごみの減量化やリサイクルの各種取組が進んでいる。</li> </ul>	
	概要 (具体的手段・ 全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物処理基本計画、同実施計画及び分別収集計画の策定と進行管理</li> <li>・廃棄物処理施設(熱回収施設、リサイクル施設など)の管理運営</li> <li>・廃棄物の適正処理及びリサイクルの取組の推進、啓発活動</li> <li>・実施方法: 直接実施、業務委託</li> <li>・委託先: (株)川崎技研</li> </ul>	
	令和4年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波市クリーンセンター管理運営</li> <li>・最終処分場管理運営</li> <li>・丹波篠山市清掃センター運営</li> <li>・リサイクル活動補助</li> <li>・氷上多可事務組合運営ほか</li> </ul>	令和5年度の 事業概略

コスト(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
(評価年度は実績、計画年度は予算)								
歳出	総事業費 A+B	1,114,319	1,093,934	1,146,609	1,258,262	1,182,745	1,181,937	
	直接事業費A	957,053	932,717	974,796	1,087,707	1,012,190	1,011,382	
	総人件費計(E+H) B	157,266	161,217	171,813	170,555	170,555	170,555	
	職員従事者数(人・年) C	19.09	19.08	20.07	19.72	19.72	19.72	
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430	
	人件費 E=C×D	141,266	142,337	152,933	146,520	146,520	146,520	
	会計年度任用職員従事者数(人・年) F	8.00	8.00	8.00	9.50	9.50	9.50	
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530	
人件費 H=F×G	16,000	18,880	18,880	24,035	24,035	24,035		
歳入	特定財源	225,557	206,312	262,760	266,647	204,170	204,170	受益者負担については、令和3年度よりその他特財へ変更
	国・県支出金	3,838	3,936	1,500	3,385	3,843	3,843	
	借入金(地方債)	0	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	206,748	193,073	0	0	0	0	
	その他特財	14,971	9,303	261,260	263,262	200,327	200,327	
一般財源	888,762	887,622	883,849	991,615	978,575	977,767		

実施 (DO)	指標名	単位	目標実績		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
			目標	実績							
成果	一人一日当たりごみ発生量(全ごみ量)	g/日	目標		742.90	740.80	738.70	736.60	734.40	732.30	
			実績		754.60	773.40	760.62	747.65			
成果	ごみのリサイクル(資源化)率	%	目標		16.6	17.4	18.2	18.4	18.5	18.7	
			実績		15.0	13.1	12.8	14.8			
成果	一人一日当たりごみ発生量(生活系ごみ)	g/日	目標		498.00	492.70	487.30	481.90	476.60	471.20	
			実績		511.26	545.60	538.12	524.35			
成果	収集や処理に関する事故件数	件	目標		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			実績		1.0	2.0	1.0	2.0			
コスト			目標								
			実績								
コスト			目標								
			実績								
指標の推移等の背景・分析		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活系・事業系・資源ごみ集団回収を含めた全ごみ量の一人一日当たり発生量は約13g減少した。うち、生活系が約14g減少、事業系が約5g減少、資源ごみ集団回収が約5g増加した。また、生活系ごみでは計画収集での減少が約7g、施設への直接搬入分の減少が約7gとなった。</li> <li>・リサイクル率が2%増加した。うち剪定枝・刈草リサイクルの開始により1%増、資源ごみ集団回収量の増加により0.6%増、紙製容器包装リサイクルの開始により0.2%増となった。</li> </ul>									

事務事業名	廃棄物処理及び資源循環推進事業		
事業担当課	生活環境部 環境課	事業期間	平成 16 ~ 無期 年度

事務事業全体の実施 (DO) に対する、事務事業の展開の評価・課題について						
評価 (CHECK)	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
		(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、家庭・事業所から排出される一般廃棄物の処理責任は市にあるため、市民の生活環境を維持する必要がある。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価		B	一人一日当たりごみ発生量が減少、ごみのリサイクル率が上昇し、いずれも成果指標の目標値に近づいている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	・ごみ処理は市全域にわたり行っており、公平性は保たれている。 ・ごみ袋を通じた適切な受益者負担額について前年度同様に検討をしている。

改革 (ACTION)	総合的な評価と課題 (成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など)					
		<p>・令和4年度から本格的に実施した燃やすごみ減量施策により、燃やすごみの減量及びリサイクル率が向上した。特に事業者が排出する剪定枝・刈草を資源化したことにより、燃やすごみ量を245トン削減、リサイクル率を1%向上させた。</p> <p>・リサイクル率を更に向上させるには、資源物の分別徹底だけでなく、新たな資源化品目の選定が必要である。</p> <p>・ごみ発生量の目標を達成するには、ごみそのものを出さない生活への行動変容を促す施策が必要である。</p> <p>・指定ごみ袋の供給不足が発生し、市民を混乱させた。このため、安定的な指定ごみ袋供給を目指し、袋形状及び製造工場等の変更を行い、年末には供給を安定させた。ロール式・丸袋の仕様であったため、限られた工場でのみ製造できないことが供給不足の一因であった。</p>				
	今後の方向性・改善策等	成果・コストの方向性				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市施設の健全な維持管理・運営を実施する。</li> <li>山南地域のごみを令和9年度から受け入れ、安定的に処理するための施策を展開する。</li> <li>燃やすごみの減量及びリサイクル率の向上のため、プラスチック使用製品や家庭から出る剪定枝・刈草を資源化する。</li> <li>多量排出事業者等への個別・直接にごみ減量と分別徹底の指導することについて検討する。</li> <li>ごみの発生を抑制する (Reduce) 生活への行動変容を促す施策を検討する。</li> </ul>	成果の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
			拡大			✓
			現状維持			
			縮小			
			休廃止			
		コスト投入の方向性				

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト (評価年度は実績、計画年度は予算)					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	清掃総務費	45,870	43,362	58,536	62,437	61,629	
2	丹波市クリーンセンター管理運営事業	674,220	670,296	683,593	678,011	678,011	
3	最終処分場管理運営事業	22,216	22,840	66,597	27,227	27,227	
4	丹波篠山市清掃センター管理運営事業	96,893	112,925	137,310	119,143	119,143	
5	氷上多可衛生事務組合運営事業	93,518	125,373	141,671	125,372	125,372	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		932,717	974,796	1,087,707	1,012,190	1,011,382	

●外部評価 【令和4年度実施】

指摘事項など	<p>A:ごみの減量化、リサイクル率の向上のため、生ごみ処理機 (キエーロなど) の購入支援のさらなる啓発をしてほしい。</p> <p>B:機密書類の資源化について、一般家庭にまで範囲を広げて行うことはできないか。</p>	対応状況	<p>a:生ごみ処理機購入補助の仕組みについて、広報たんば等を活用し啓発していく。</p> <p>b:事業系機密書類の溶解処理事業は、廃棄物減量等推進審議会から答申があり、検証の上で実施を決定した事業である。一般家庭の機密書類については、同様の手法で実施できるか検討していく。</p>
--------	---	------	--

# 丹波市総合計画 令和 4 年度事務事業評価 / 令和 5 年度実施計画

事務事業名	廃棄物処理施設整備・整理事業		
事業担当課	生活環境部 環境課	事業期間	平成 19 ~ 令和6 年度
	所属長 田口 健吾	担当 北野 博史	担当

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【4】美しい自然と環境を大切にする源流のまち
		施策目標	3[ごみ処理]ごみの分別を徹底し、環境に配慮した循環型社会を形成しよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
根拠法令・個別計画等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律/資源の有効な利用の促進に関する法律/丹波市廃棄物の適正処理、減量及び再生利用に関する条例	

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	丹波市クリーンセンター附帯施設、既存廃棄物処理施設	
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>丹波市クリーンセンターの整備に関連する附帯施設の整備を早期に完了し、整備した施設を活かし資源循環型社会の形成に向けての取組が進んでいる。</li> <li>平成26年度をもって廃止(一部廃止を含む)する既存廃棄物処理施設の解体(一部活用を含む)及び跡地利用が計画的に進んでいる。</li> </ul>	
	概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>丹波市クリーンセンター附帯施設の整備</li> <li>計画施設：市民広場、生ごみ・剪定枝リサイクル実証施設、管理道路、周辺道路等</li> <li>既存廃棄物処理施設の解体(一部活用を含む)及び跡地整備</li> <li>対象施設：クリーンセンター(ひかみ・春日・市島の3施設)、リサイクルセンター(氷上・柏原・青垣の3施設)</li> <li>実施方法：直接実施、業務委託</li> <li>委託先：(公社)丹波市シルバー人材センター</li> </ul>	
	令和4年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひかみクリーンセンター跡地の埋めて及び活用策の検討</li> <li>市島クリーンセンター跡地活用の検討</li> <li>生ごみ・剪定枝リサイクル実証施設運営状況等の検討及び今後の運営方法の検討</li> </ul>	令和5年度の 事業概略

コスト(単位：千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
(評価年度は実績、計画年度は予算)								
歳出	総事業費 A+B	152,944	3,418	5,155	1,664	1,664	1,664	
	直接事業費A	151,390	1,329	3,021	921	921	921	
	総人件費計(E+H) B	1,554	2,089	2,134	743	743	743	
	職員従事者数(人・年) C	0.21	0.28	0.28	0.10	0.10	0.10	
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430	
	人件費 E=C×D	1,554	2,089	2,134	743	743	743	
	会計年度任用職員従事者数(人・年) F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530	
人件費 H=F×G	0	0	0	0	0	0		
歳入	特定財源	146,903	0	0	0	0	0	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	
	借入金(地方債)	23,700	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
	その他特財	123,203	0	0	0	0	0	
一般財源	6,041	3,418	5,155	1,664	1,664	1,664		

実施 (DO)	指標名	単位	目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
			実績							
成果	付帯施設整備率	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
			実績	100.0	100.0	100.0	100.0			
成果	既存施設整理率	%	目標	82.4	82.8	91.2	91.2	-	-	
			実績	65.9	65.9	65.9	65.9	-	-	
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析

- 計画していた付帯施設整備工事については、平成30年度で全て完了した。
- 廃止した廃棄物処理施設の跡地の活用方法については、近隣自治会等との協議を行いながら活用方法を決定していく必要がある。

事務事業名	廃棄物処理施設整備・整理事業		
事業担当課	生活環境部 環境課	事業期間	平成 19 ~ 令和6 年度

事務事業全体の実施 (DO) に対する、事務事業の展開の評価・課題について					
評価 (CHECK)	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	理由・コメント
	(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	A	既存施設の廃止時期及び継続目標を立て維持管理することで、財産を有効活用するとともに、周辺環境を維持していく必要がある。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	該当なし	・市島最終処分場跡地については引き続き地元からの要望があるが、具体的な活用方策を決められていない。 ・氷上クリーンセンター跡地については、埋め立て処理が完了し、具体的な活用方策を検討する必要がある。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	最終処分場については、適正な維持管理をすることが市民が安心して暮らせる街をつくることから、公平性、受益者負担を定めるものではない。

総合的な評価と課題 (成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など)																																						
改革 (ACTION)	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市島クリーンセンター跡地については、地元から有効活用を求められているが、活用方策を見い出せていない。</li> <li>氷上クリーンセンター跡地については埋め立てが完了後したが、跡地の活用方法は決定していない。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧施設を活用するにあたっては、当該施設の所在地、施設規模等により事業に活用できるものがある。</li> <li>施設の活用には、新たな事業を構築していく必要があるが、廃棄物処理での活用は見込みにくいのが実情である。</li> </ul>																																					
	<p>今後の方向性・改善策等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市島クリーンセンター跡地については、引き続き、地元自治会と協議も行きながら活用方策を検討する。</li> <li>氷上クリーンセンター跡地の活用については、埋め立てが完了したことから、近隣事業者や地元自治会と調整しながら活用方策を検討する。</li> </ul>																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="4">成果・コストの方向性</th> </tr> <tr> <th>皆減</th> <th>縮小</th> <th>現状維持</th> <th>拡大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">成果の方向性</th> <th>拡充</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>現状維持</th> <td></td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> </tr> <tr> <th>縮小</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>休廃止</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </tbody> </table>				成果・コストの方向性				皆減	縮小	現状維持	拡大	成果の方向性	拡充					現状維持			✓		縮小					休廃止					コスト投入の方向性					
				成果・コストの方向性																																		
		皆減	縮小	現状維持	拡大																																	
成果の方向性	拡充																																					
	現状維持			✓																																		
	縮小																																					
	休廃止																																					
コスト投入の方向性																																						

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト (評価年度は実績、計画年度は予算)					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	一般廃棄物処理施設整備事業						
2	一般廃棄物処理施設整理事業	1,329	3,021	921	921	921	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		1,329	3,021	921	921	921	

●外部評価 【 】年度実施

指摘事項など	対応状況